

## 私のすすめるこの1冊

延原 理恵 (家政科 教授)

### 『「いき」の構造』

九鬼周造 (著)

学生時代に受けた住宅設計の授業で、建築家の先生が語ってくださった日本の住宅建築の話が、とても印象に残っています。その話の中で3冊の図書が紹介され、建築家を志すなら必読書とも言われて、早速、購入して読んだものです。今回はその中の1冊をご紹介します。

実は、その3冊の中で、学生当時、もっとも読み進めることが難しかったのがこの本です。部屋の本棚から探し出し、改めて読み返してみると、授業で語られた日本建築論とともに理解しようとして書き込んだ痕跡があって、懐かしく、また新たな気づきもありました。

昨年度(2024年度)、住居学研究室では、卒業論文で「Japandi」というインテリアスタイルの配色パターン分析に取り組んだ学生がいます。「Japandi」は、日本(Japan)と北欧(Scandi)を組み合わせた造語で、新型コロナウイルスが世界的に大流行した頃から、海外で注目されはじめたインテリアスタイルです。

AIの力を借りれば、『「いき」の構造』の中で述べられているようなことの一部、例えば、「Japandi」に関する単語の抽出やそれらの単語の関係性を図示することは容易にできてしまいます。また、配色分析も関連アプリに画像を入力してクリックすれば、ベースカラーやアクセントカラー等がすぐに提示されます。しかし、本書には、「いき」な色彩について述べられている頁があり、何故その色は「いき」なのか、さまざまな観点から考察されています。「Japandi」の配色についても、何故その色なのかという考察を大切に追求しました。

序説には「我々はまず意識現象の名の下に成立する存在様

態としての「いき」を会得し、ついで客観的表現を取った存在様態としての「いき」の理解に進まなければならぬ。前者を無視し、または前者と後者の考察の順序を顛倒するにおいては「いき」の把握は単に空しい意図に終るであろう。」と述べられています。このようなことを卒論生とのやりとりでは大事にしていたように思います。AIの目覚ましい進化に、AIや生成AIをどのように活用していくか、また卒業研究において大事にすることは何か、最近はそのことを考えさせられています。本書において、「いき」という曖昧な概念を論理的に解き明かそうとする思考過程を追うことによって、抽象的な問題を整理し、自分の頭で考えることの意味や術を教わっていたのかもしれない。

また、翻訳ツールはどんどん進化していて、スマホをかざすだけで翻訳できるようになってきましたが、「いき」は「わび」「さび」と同様、他の言語では表現しがたい言葉です。本書では、言語はその国の価値観や思考の枠組みを反映していて、その言葉が生まれた言語の文脈や文化の中で考えることの重要性についても論じられています。教養科目で第二外国語を学ぶ意義のひとつは、その言語が使われている国の歴史や文化に触れ、それらを感じ取る感性を養うことといえるのではないのでしょうか。

なかなか思考力の求められる本ではありますが、思考力を鍛えるための1冊といえるかもしれません。ちなみに、今はビギナーズ版も出版されています。



『九鬼周造「いきの構造」ビギナーズ 日本の思想篇』

(角川ソフィア文庫) 九鬼周造 (著)、大久保喬樹(編)

KADOKAWA, 2011 ISBN : 9784044072223

**新入生のみなさんへ**

ご入学おめでとうございます。みなさんの大学生活が豊かなものとなるよう、図書館職員一同、心からお祈りしております。ぜひ図書館にへ越してください♪

**北館の2階**には研修・セミナー室やラーニングcommonsがあります。セミナー参加や模擬授業練習、IPC 提供PCでのレポート執筆、様々な用途にお使いいただけます！※下記参照

**学修相談カウンター（ラーニングcommons）**勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？※詳細はホームページやポスターで！

**企画展示室(北館1階)**学生の皆さんでも利用できます。自分たちの作品の展示などに是非！※下記参照

**南館1階**はDVDや新聞、雑誌、小説、マンガ、絵本などがあります。気軽にのぞいてみてね！

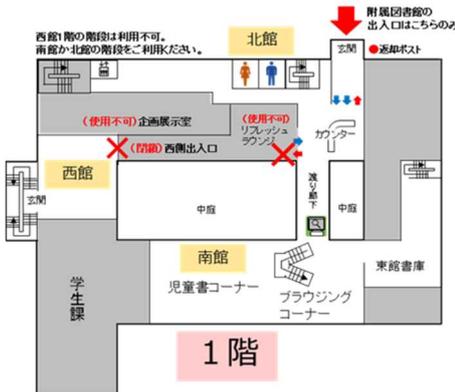
**西・南の2階**にはシラバス図書や教科書などとともに閲覧席が並んでいます。自習、研究、レポート執筆の中心です。

**西の3・4階**は書庫スペース。見晴らしく研究がはかどります。



## 事務局棟改修工事中の附属図書館の利用について

令和7年度に予定されている事務局棟改修工事に伴い、附属図書館の設備等に利用制限が生じます。なお、日程等は予定です。最新情報は附属図書館HPをご覧ください。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



**1階**

**【閉鎖】 図書館西側出入口および入館ゲート**  
**期間：3月7日(金)～2026年5月15日(金)**

- ・学生課側からの図書館出入口を封鎖。
- ・附属図書館へはグラウンド側の北側玄関のみ出入り可能。
- ・リフレッシュラウンジの返却ポストの撤去。(返却ポストは2/17より撤去。)

開館中の返却はカウンターへ、閉館時の返却は北側玄関横の返却ポストへお願いします。

**【変更】 図書館西側階段およびエレベーターへの通路**  
**期間：3月7日(金)～2026年5月15日(金)**

- ・西館階段の1階展示室への出入口を封鎖し、2～4階のみ通行可(非常時は1階へも通行可)。2階へはカウンター付近の北館・南館階段をご利用ください。
- ・1階のエレベーターへは、仮設壁で区切った通路からのアクセスとなります。通行時ご注意ください。

**【使用不可】 北館1階 リフレッシュラウンジおよび企画展示室**  
**北館2階 研修セミナー室1・2・3**  
**期間：2月17日(月)～2026年5月15日(金)**  
 ※グループ学習室は利用可能です。(10名まで。要予約)



**2階**

## 在学生アンケート 2025 を実施しています

附属図書館では学生利用者の皆さまの要望・評価を調査することを目的に利用者アンケートを実施しています。よりよい図書館にしていくため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【調査方法】アンケート用紙および Web フォーム

【対象】新学部 2 回生以上の在学生全員

【実施期間】3 月 24 日(月)～4 月 30 日(水)

【配布方法】用紙は在学生オリエンテーション時に配布および回収箱の近くに設置

Web フォームは図書館 HP でお知らせ

【回収方法】回収箱(設置場所:図書館、オリエンテーション会場)および Web フォーム

## 予約制！図書館ツアー・講習会に参加しよう！

図書館ではさまざまな講習会を、4/10～5/30 に予約制で開催します。

レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望

日時(曜日・時限(平日 11:30～17:15))

を明記の上、メール(library@kyokyo-u.ac.jp 宛)

または Google フォームから前日までにお申込みください。

調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

【集合場所】附属図書館カウンター

※詳細は、ホームページやポスターで！

(Google フォーム)



## 新着電子BOOKのポスターを展示しています

新規に購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横とその向かい側の二カ所で展示しています。各ポスターの下側にある QR コードは切り離し可能ですので、読みたい本／興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。

なお、学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントの ID・パスワードを入力してください。



## 2025前期ブックハンティング参加者募集！

実際の店舗で図書館におく本を選ぶ「ブックハンティング」に参加する学生を募集しています。ひとり 2 万円の予算で好きな本を選び放題(但し、雑誌、CD、DVD、その他娯楽目的の本は除く)。たくさんのご応募をお待ちしています。

【店頭選書日時】5 月 21 日 または 28 日(水)14:30～16:30

【場所】丸善京都本店(河原町 BAL 内)現地集合・現地解散

【応募〆切】5 月 12 日(月)まで

【申込方法】件名に「ブックハンティング申込」、本文に①学籍番号、

②氏名、③当日の連絡先、④参加可能日、を明記して library@kyokyo-u.ac.jp 宛に送信。

または、館内設置の申込書でも申込可能。

※図書館ホームページのお知らせもご覧ください。



## 春季休業に伴う長期貸出について

【返却期限日】4月17日(木)

学部生:1月28日(火)～4月2日(水)

院生・教職員:1月14日(火)～3月19日(水)

## リクエストと話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！【投票期間】4月1日(火)～4月30日(水)

## 児童書コーナー(南館 1 階)

幼児教育科主催  
えほんのもり

今月の絵本カード(学生作)

『パンヤのろくちゃん』  
作・絵:長谷川 義史  
出版社:小学館



※児童書コーナーに  
かわいいカードが飾ら  
れていますので、ぜひ  
見に来てください。

## 展示案内:児童書コーナー

カラクリ工作展『未詳』:カラクリサークル PYTHA

【期間】4月24日(木)～6月6日(金) 最終日は15:00迄  
ピタゴラスイッチ等の展示です。

## 教育資料館 まなびの森ミュージアム

【4月の開館日時】

・7日(月) 9:30～12:30 ※入学式

・14日(月)、21日(月)、28日(月) 14:00～17:00



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **武島 良成** (社会科学科 教授)

### 元南機関員と戦後ビルマの関わり—1950年代を中心に—

武島 良成

京都教育大学紀要 2024, No.145, pp. 1-19  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9872>



太平洋戦争の劈頭に、アウンサン、ネーウィン、ボウ・レッチャーらのビルマの若者(30人志士)を使って謀略工作を行った南機関(長:鈴木敬司大佐)のことを、ビルマの独立を推進したとして称揚する言説があります。筆者はこれに対して、南機関が思い描いた「独立」が、日本の指導下のものに過ぎず、30人志士も鈴木に批判的だったことを指摘しました。ですが、今でも、左右を問わず、南機関を称揚する向きがあります。これは、研究の「タコツボ」化や、現地語資料を使わないで一方通行の「研究」をする人が、依然多いことを示しています。彼らは、元南機関員の一部が、戦後も30人志士と関わりを持ち、ネーウィン(1962~1988年にビルマの最高権力者)から1981年に国家勲章を授与されたことを過大評価しているのでしょう。

これに対して本稿では、国家勲章の件が、敵対者をも「包摂」しようとするネーウィンの政策の一部であり、過大視できないことを確認しました。その上で、戦後の元南機関員がひとまとまりではなく、相互の、あるいはビルマ側との関係が複雑だったことを指摘しました。例えば、杉井満や高橋八郎は、戦後はレッチャーと提携して貿易事業を行いました。しかし、レッチャーと対立するネーウィンの介入で事業は打ち切られ(1955年)、以後高橋はネーウィンの「友人」としてビルマに残ることになりました。また、奥田重元は池田勇人の姻戚になったため、ビルマ側は日本政界へのパイプ役として重用しました。その一方で、旧軍気質が抜けず、自身の「独立」への貢献を吹聴する元機関長の鈴木敬司との関係は深めなかったようです。

私は、鈴木のような人(「ミニ鈴木」)は、時代を超えてあちこちに存在すると思います。彼ら彼女らが一方的に語る手柄話に、惑わされないようにしたいところです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 145号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00  
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2025年4月							2025年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

4/7 入学式  
4/10 前期授業開始

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.295 (2025年4月号)  
発行日:2025年4月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)

国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION